

- | | |
|---|--|
| <p>5月 ● 総会
● 第1期日本語教室</p> <p>7月 ● 前期オンライン日本語教室
● 英会話学習イベント～Enjoy English～
● 希望の翼vol.36発行</p> <p>9月 ● 第2期日本語教室
● 第26回日本秋まつり参加使節団派遣
● 第24回姉妹都市文化使節団・市民訪問団受入</p> <p>11月 ● 第25回国際児童絵画展
● 第22回国際交流のつどい／世界の料理・屋台村</p> | <p>12月 ● 後期オンライン日本語教室
● 国際化推進フェスタ</p> <p>1月 ● 第3期日本語教室
● 多文化理解講座
● 多文化交流サロン
● 姉妹友好都市・国際交流パネル展</p> <p>2月 ● 希望の翼vol.37発行</p> |
|---|--|

※新型コロナウイルス感染症の影響で、延期や中止になる場合があります。



希望の翼

新型コロナウイルス感染症が流行してから2年の月日が経ち、わたしたちの生活様式や価値観は大きく変わりました。

困難な状況が続いていますが、一人ひとりが責任ある行動を続け、互いを思いやる心を忘れずに生活することが大切です。

ともにウィズコロナ時代を乗り越え、平和で穏やかな世界が戻ってくることを願っています。

当協会Facebookや協会ホームページをご活用ください！

日本語教育やさまざまなイベントの開催案内、災害時等の情報など、生活や行政に関する情報を、当協会Facebookやホームページで発信しています。

会員の皆様や本市の国際交流に興味のある人が、伊勢崎市国際交流協会を身近に感じ、興味をもっていただけるような情報発信をしています。ぜひご活用ください！



伊勢崎市国際交流協会

新規会員登録中！

本市の国際交流の促進や国際理解など、協会の趣旨に賛同していただける人を募集しています。

○年会費 個人会員 2,000円
団体会員 5,000円

国際ボランティア募集中！

地域における国際交流や多文化共生を推進するため、語学・文化紹介・イベント運営などの分野で協力していただくボランティアを募集しています。

○対象 本市の国際交流や多文化共生の推進に関心を持つ団体または18歳以上の人

申し込み・問い合わせ

伊勢崎市国際交流協会事務局

(伊勢崎市市民部国際課内)

〒372-8501 伊勢崎市今泉町二丁目410番地
TEL(0270)27-2731 FAX(0270)23-9800

Mail : i-exchange@dan.wind.ne.jp

募金のご協力をお願いします！

本市に避難してくるウクライナ国民を支援するため、当協会では募金事業を実施しています。

- 期間 当面の間
- 募金箱 市所有施設8カ所
(国際課、本庁受付3カ所、
社会福祉課、各支所)
- 振込み用口座も開設しています。



詳細については、QRコードを参照してください。



▲令和4年度第1期日本語教室午後クラス NPO法人伊勢崎日本語ボランティア協会と生徒のみなさん

特集 日本語教室 姉妹都市からの近況報告

当協会の総会につきましては、5月11日に開かれ、事業報告及び収支予算が承認されました。昨年度同様、新型コロナウイルス感染症対策を念頭に置き、安全に配慮した事業を実施して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年度第3期日本語教室に続き、令和4年度第1期日本語教室を、緋の郷で、NPO法人伊勢崎日本語ボランティア協会により開催しました。

今号では、日本語教室と姉妹都市米国ミズーリ州スプリングフィールド市からの近況報告について特集します。

日本語教室「あなたにとって日本語教室とは？」

当協会は、外国人との共生のまちづくり事業として、日本語教育事業を行っています。そのうちのひとつが、日本語教室です。当協会が、NPO法人伊勢崎日本語ボランティア協会（2002年発足・2010年法人化）に委託し、教室を開催しています。市内に在住・在勤している16歳以上の外国人を対象とし、年3期、毎週日曜日、緋の郷で行っています。

日本語ボランティア講師は、市内の外国人が生活者として日本の社会に踏み出す一歩の担い手として大きな存在です。

伊勢崎日本語ボランティア協会理事長の石川孝明さんと生徒のハウ・エンフさんに、「日本語教室はどんな場所か」をテーマに話をお聞きしましたのでご紹介します。

石川孝明さん



▲石川理事長
2012～活動
2014～理事長を務める

「国籍を問わず人と人が繋がる場所」

NPO法人伊勢崎日本語ボランティア協会は、文化や習慣の違い、言葉の違いに不安を抱えている外国人を支援したいと、「生活は言葉から」を基本理念とし活動しています。

参加している生徒は、日本人と交流し、仕事や生活を向上させたいと思っています。

また、私達講師は、生徒と一緒に学び、支援させていただき活動に参加し、役に立てていることに、喜びや達成感を感じています。

コロナ禍での授業で苦勞もありますが、対面による生徒と講師のコミュニケーションを大切にしています。日本語教室は、国籍を問わず、人と人が繋がることのできるコミュニティの場所であると思います。

外国人が生活者として地域の仲間となり、日本人と一緒に活躍してほしいと考えています。

また、教室で学んだ生徒が、将来講師として日本語教室の支援者になってくれることを願っています。

「日本語とコミュニケーションを学ぶ場所」

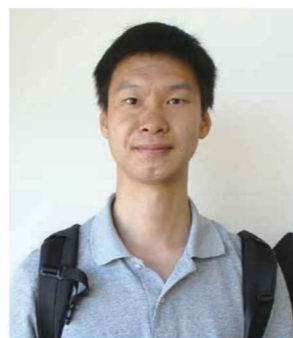
教室では、日本語を学びながら、日本文化や日本人とのコミュニケーションの取り方など、日本で生活する上で大切なことを学んでいます。対面だとお互いにコミュニケーションを取りやすいので、効率的に知識を得ながら、日本語を学ぶことができると感じています。

また、多国籍の生徒との交流を通じて、コミュニケーションスキルを養うことができます。授業中は、みんな真面目ですが、休憩時間は自由な雰囲気、他の生徒たちとコミュニケーションを楽しんでいます。

日本語の勉強は、長く続けることが大切だと思います。教室に参加して2期目ですが、今後も3期、4期..と、教室に通いたいと思っています。いつもやさしく、真面目に教えてくださる先生方にとても感謝しています。

お互いが心を開き、お互いの文化や習慣の違いを理解し、尊重することが大事だと思います。わたしも日本語習得に向けて、今後もがんばります。

ハウ・エンフさん



▲ハウ・エンフさん
中国出身 2021年8月来日
市内の会社にエンジニアとして勤務

今年度日本語教室のご案内
第2期 令和4年9月4日～11月13日までの日曜日 全10回 ※10月16日を除く
第3期 令和5年1月15日～3月26日までの日曜日 全10回 ※2月5日を除く

～姉妹都市からの近況報告～

その1 記念品縁起達磨の式典が行われました！

令和3年度、姉妹都市提携35周年を記念し、本市からスプリングフィールド市へ「縁起達磨」が贈られました。令和4年4月26日、スプリングフィールド市で縁起達磨の贈呈式典が行われ、参加したケン・マクルアー市長に縁起達磨に込められた思いが伝えられました。また、ケン・マクルアー市長が希望の翼vol.35を読み、姉妹都市提携35周年記念事業を振り返りました。



▲贈呈した縁起達磨と式典参加者
左から 姉妹都市委員会 リサ・ペーカリンク事務局長
四ツ葉学園出身 現地大学院在学 水谷セザルサマラさん
ケン・マクルアー市長
四ツ葉学園出身 現地大学院在学 眞田雄大さん
姉妹都市委員会 マーク・ウールジ委員
姉妹都市委員会 アンディー・ドレナン委員長



▲希望の翼を読む様子
左 姉妹都市委員会 リサ・ペーカリンク事務局長
右 ケン・マクルアー市長

その2 Iseaki Student Art Exhibit @ ボタニカルセンター開催

姉妹都市米国ミズーリ州スプリングフィールド市のボタニカルセンターで、令和4年3月15日～5月31日まで"Iseaki Student Art Exhibit"（伊勢崎児童絵画展）が開催されました。ボタニカルセンターは、約45,000平方メートルを有するボタニカルガーデン内にある公共施設です。ボタニカルガーデンで4月2日に開催された「カイト・ピニャータフェスティバル」には、約9,500人が訪れました。この絵画展では、伊勢崎市の児童の絵画作品92点が出展されました。絵画展を主催した、スプリングフィールド姉妹都市委員会のリサ・ペーカリンク事務局長より、コメントをいただきましたのでご紹介します。

今までボタニカルセンターで開催された展示会の中で、伊勢崎児童絵画展は、もっとも多くの反響がありました。

幅広い年齢層の方々が、色鮮やかな絵画作品を楽しんでいました。特に遠足で訪れていた生徒たちに人気がありました。生徒たちは、絵画作品に惹かれ、伊勢崎の小学生や作品の説明について読み、絵画作品がずっと遠い日本から来ていることに夢中になっていました！

この展示を通じて多くの市民がなお一層わたしたちの姉妹都市伊勢崎市との関係を学んだことでしょう。

この絵画展が毎年の恒例となるよう願っています。

リサ・ペーカリンクさん



▲姉妹都市委員会
リサ・ペーカリンク事務局長



▲ボタニカルセンター



◀伊勢崎市の児童の絵画作品展示の様子



◀絵画展に訪れた親子